

## 都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書（推進事業）

事業費（要望額）		19,065,000円（うち交付金19,065,000円）		都道府県名		青森県		
うち地域提案メニュー分		円（うち交付金 円）		事業実施年度		平成19年度		
現状と課題（※計画地区等における現状を踏まえて、課題を数値等も交えて具体的に記述すること。）								
経営力の強化	耕地面積に占める集積対象者に対する農地利用集積面積の割合について、県では、平成16年度末の45%から平成26年度末に60%に拡大することとしているが、近年は、その利用集積が鈍化傾向にあることから、今後は一層利用集積の推進に努める必要がある。							
課題を解決するため対応方針（※上記の課題に対応させて記述すること。）								
経営力の強化	担い手への農地の利用集積の加速化を図るため、農業委員会による農地の利用調整及び優良農地の確保等の支援や、農業委員会による取組の円滑かつ効果的な推進を図るための活動を支援する必要がある。							
都道府県における目標関係								
政策目標	取組名	成果目標の具体的な内	事業実施後の状況				成果目標の具体的な実績	備考
			計画時（平成18年度）	実施後（平成19年）	目標（平成19年度）	達成率		
担い手の育成・確保	認定農業者等担い手育成対策の推進	認定農業者の育成	7,490経営体 (平成19年3月末)	8,534経営体 (平成20年3月末)	8,500経営体 (平成20年3月末)	103.3%	達成率=増加数(1,044)/目標数(1,010)×100	
担い手への農地利用集積の促進	農地利用集積の推進	担い手への農地利用集積率の増加	担い手への農地利用集積率 35.3% (平成19年3月末)	担い手への農地利用集積率 38.2% (平成20年3月末)	集積対象者に対する農地利用集積率を事業実施前年度末と比較して4.4%増加 (平成20年3月末)	65.9%	利用集積率の増加実績÷利用集積率の増加目標×100=集積率  2.9%÷4.4%×100=65.9%	
新規就農者の育成・確保	若者・女性就農チャレンジ支援	新規就農者の育成		新規就農者数 148名	新規就農者数 150名	98.6%	通年相談体制の整備、各種研修会の開催及び濃密巡回指導による技術向上支援など定着化に向けた支援体制が整備され、新規就農者数が前年度(H18:102名)に比べて大幅に増加し、間接的ながらも事業の効果が認められた。	
○地域提案メニューの内容								

国による点検評価
実績が目標を概ね達成し、担い手の育成・確保が図られたと判断される。
成果目標を達成できず、担い手への農地利用集積の取組が不十分であったため、改善指導が必要であると判断した。
実績が目標を概ね達成し、新規就農者の育成・確保が図られたと判断される。

事業実施地区数 (ア)	評価対象外地区数 (イ)	評価対象地区数 (ア) - (イ)	評価対象外の地区がある場合、 その代表的な理由	総合所見
8	0	8		全体的に目標は達成され、取組が確実な成果を上げてきている。一地区において、達成率が100%を下回ったが、ほぼ達成している数値であり、今後の取組により目標を達成できる範囲内である。